

新年のあいさつ

NEW YEAR MESSAGE 2025



医療法人共和会
小倉リハビリテーション病院
病院長 梅津祐一



新年あけましておめでとうございます。

昨年元旦から能登半島を中心とした大地震、翌日は羽田空港での飛行機接触事故、さらに3日には小倉の繁華街での大火災と、新年早々、甚大な被害をもたらす災害や事故が起きました。どんな年になるか心配しましたが、夏の猛暑はあったものの、新型コロナ感染も徐々に落ち着いてきた1年でありました。病院として常日頃から大災害や不慮の事故に対する更なる備えをしなければならないと痛感しているところです。

昨年は診療報酬・介護報酬、障害福祉サービス等報酬のトリプル改定がなされました。リハビリテーション関連では、リハビリテーション、栄養管理、口腔管理の一体的体制が求められるようになりました。介護保険分野において医師を中心とした良質なりハビリテーションサービスの提供が必要となり、加えて管理栄養士、歯科医師、歯科衛生士の役割も重要になってきました。

昨年夏には良質なりハビリテーション医療を提供すべく、5度目になる病院機能評価を受審しました。前回の受審で課題として指摘されました医療安全、院内感染対策におきまして、5年間の改善努力の成果を認めていただくことができました。さらに、地域に根ざし、安心・安全、信頼と納得の得られる医療サービスを提供できるよう、常日頃から努力している病院として認められたいと強く思っているところです。

本年もご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

